

いまなんじ（とけいの よみかた）

とけいの すうじを みてみよう



まずは、とけいを みてみよう。

とけいには、1から12までの すうじが かいてあるね。

「いちにち」は、24の「じかん」に わかれているんだ。

いちにちの スタートは、みんなが ねている まよなかの 0じ。
そこから 1じ、2じ、3じ・・・と じかんが たっていくよ。

みんなが おきるころが 7じごろかな。
そして、がっこうに いくのが 8じくらい。
きゅうしょくを たべるのが 12じ くらいだね。

12じの つぎは どうなるかというと、また 1じに もどって しまう
ね。



でも、おなじ 1じでも、こんどは 「おひるの 1じ」という ことなんだ。

そして、また 2じ、3じ・・・と じかんが たって、6じくらいになると、そとが くらくなってきて、よるごはんを たべたりするね。

9じくらいには みんなは ねてしまうんじゃないかな。

みんなが ねたあとも、じかんは すぎて、10じ、11じが すぎて・・・

0じになると、つぎの ひが スタートするんだ。

1から12までを 2かい すすむのと、ちょうど いちにちの「24じかん」が すぎることになるね。

だから、とけいには 1から12までの すうじが 書いてあるんだね。

ながいはりと みじかいはりを みてみよう

とけいには すうじの ほかに、ぼうのような「はり」が 2つ あるね。

ひとつは、ながい はりで、もうひとつは みじかい はりだね。

この2つの はりは、いまが なんじかを あらわすために あるんだ。



みじかい はりは「じかん」を あらわしていて、ながい はりは「ふん」を あらわしているよ。

ながい はり
(ふん を あらわす)

みじかい はり
(じかん を あらわす)



でも なんじか あらわすなら、「じかん」だけで いいよね。
どうして「ふん」も ひつようなのかな？

もし、「じかん」を あらわす はりしか なかったら、つぎの じかんまで、あとどのくらいなのかが わからなく なって しまうよね。

たとえば、8じに がっこうへ いくつもりで あさの 7じから じゅんぴを していたとするよ。

そのとき、8じに なるまで あと どのくらいか わからないと、きゅうに 8じに なったりしたら こまっちゃうよね。

なので、つぎの じかんまで あと どのくらいかを あらわす「ふん」が ひつようなんだ。

「1じかん」は、「60ふん」と おなじだよ。

なので、7じから 8じに なるまでには、60ふん かかるんだね。



これなら、「ふん」を あらわす はりが、60このうち どこまで すすんだかを みれば、8じまで あと どのくらいかが わかるようになる よね。

では、「ふん」の60こぶんは、どうやって かぞえるのだろう？

とけいに かいてある すうじと すうじの あいだには、ちいさな せんが 4ほん あるよ。

この せんと せんの あいだを ながいはりが すすむまでが 1ぶん なんだ。

せんと せんの あいだを かぞえると、とけいを いっしゅうするあいだに 60こぶんの「ふん」を すすむことにな るんだよ。



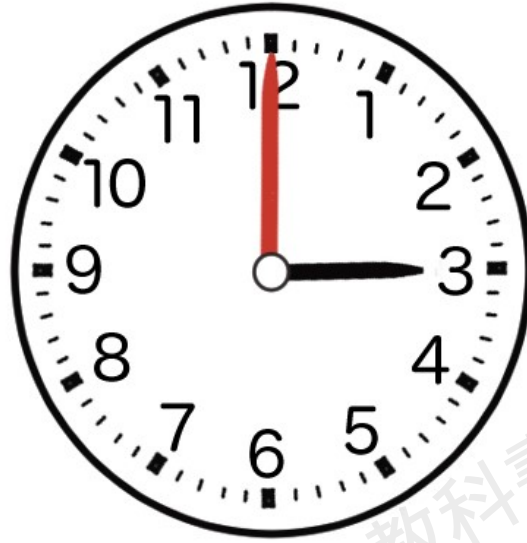
とけいを よんでみよう

それでは、じっさいに とけいを よんでみよう。
まずは、「あさ」か「よる」かは かんけいなく、なんじかだけを よんで
みよう。

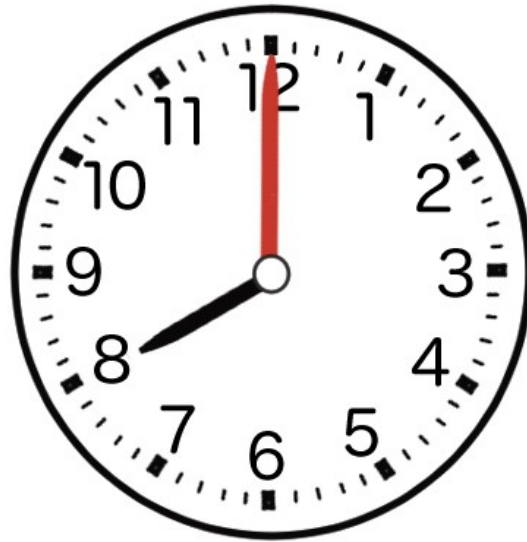


みじかい はりは 「1」を さしているね。
ながい はりが 「12」を さしているので、1じに なったばかりだ
よ。
なので、これは「1じ」だよ。





みじかい はりが 「3」、ながいはりが 「12」を さしているの
で、「3じ」だよ。



みじかい はりが 「8」を、ながいはりが 「12」を さしているの
で、「8じ」だよ。





みじかい はりが 「10」を、ながい はりが 「12」を さしてい
るので、「10じ」だよ。

